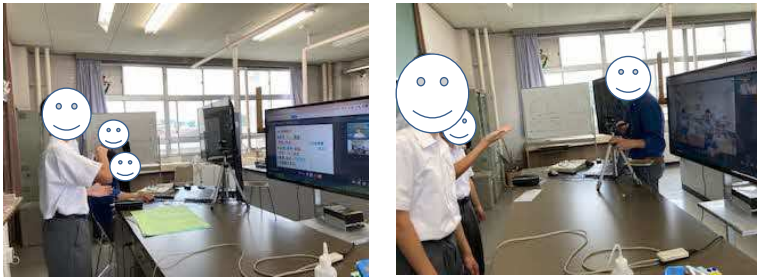


教材・支援機器活用実践事例【ICT】

離れた相手に分かりやすく伝えるための ICT 活用 「オンラインでのプレゼンテーション」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・中学部 2 年
	障がい名等	聴覚障がい
	子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等)	・ 準ずる教育課程で学んでおり、音声や手話を利用して伝え合うことができる。
授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	国語
	単元(題材)名	単元名「魅力的な提案をしよう」
	単元(題材)の概要	・ 話の構成を工夫し、視覚的提示も行いながら、相手に分かりやすく伝えることができるような説明をする。
教材・教具 支援機器について	教材・教具 支援機器	<p>オンラインでスライドを提示しながら相手に説明</p> 
	ねらい・工夫点	<p>〈ねらい〉</p> <p>○ 相手に分かりやすく伝えることを目標に、スライドの見せ方を工夫したり、オンライン場面での説明の仕方を工夫したりすることができる。</p> <p>〈工夫点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 分かりやすく伝えられるように PowerPoint のスライドの配色や文字の大きさなどを工夫しながら作成する。 ・ 説明の際にオンラインで接続した相手にどのように伝わっているかを確認しながら伝える。
	材料・作成方法等	タブレット端末、Microsoft Powerpoint、GoogleMeet
子どもの変容や評価		<ul style="list-style-type: none"> ・ お互いのスライドを見合い、良い点や改善点の意見交換を活発に行う様子が見られた。 ・ 説明前に声の大きさを確認したり、接続中に伝わらないときに、わかるまで相手とやりとりしたりする様子が見られた。

(令和 4 年度)